

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	令和元年9月18日(水曜日)
件名	令和元年度社会教育委員会議	場所 時間	牛久市役所 第3会議室 13:30~15:30
作成年月日	令和元年9月20日(金曜日)	作成者	生涯学習課：関 稔
出席者	(出席委員) 守屋常雄、田井鉄男、種子田孝子、松田元、佐々江健治、唯根勉、小島五男、武田直樹		
	(牛久市) 教育長 染谷郁夫、部長 川井聡、次長 飯野喜行、次長 吉田茂男、生涯学習課長 中野祐則、 スポーツ推進課長 齋藤勇、中央図書館長 関達彦、 (事務局) 生涯学習課長補佐 山越義弘、副参事 関稔、主事 板倉美世恵、社会教育指導員 中島和枝、 (傍聴者) 1名  (順不同・敬称略)		
議事内容	1) 「提言」についての対応状況について ・生涯学習課 ・スポーツ推進課 ・中央図書館 2) 牛久市教育振興基本計画の進捗状況について 3) コミュニティースクールについて		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 挨拶(染谷教育長) 3. 議事 1) 「提言」についての対応状況について ・生涯学習課長 (課題) 親子で参加するような事業・行事でも、参加するのはお母さんとお子さんが多く、若い世代の男性、お父さんの参加が少ないこと。参加する人が高齢化している。 (提言) 市の実施するアンケートにおいて、生涯学習に関するアンケート、現役世代や男性が参加しやすい環境調査など解決策につながる内容を盛り込む。 (検討状況) 市が実施している市民満足度調査等は、項目が多岐にわたります。そのため課題の解決策につながるような回答を得られるようなポイントを絞った内容をアンケートに盛り込むのは難しいと思われます。独自に生涯学習に関するアンケートを作成し実施したほうが効果的ではないかと考えました。すでに生涯学習課主催の各種講座では、それぞれ受講生全員を対象にアンケートを実施しております。その他には、PTA連絡協議会や家庭教育学級などで多くの人が集まる際のアンケートを実施や、市の職員に協力していただきアンケートを実施する方法も考えております。また、HPで広くアンケートを募る方法もあります。今年度中には新たなアンケートを実施して解決策に繋がるようなヒントを見いだせればと思います。アンケート実施に向けて具体的な質問内容などを検討してまいります。 (提言) 青少年育成関連団体(青少年育成市民会議、PTA連絡協議会、子ども会育成連合会等)との連携でニーズ			

の掘り起こしを行う。

(検討状況)

青少年育成関連団体（青少年育成市民会議、PTA連絡協議会、子ども会育成連合会、スポーツ団体等）は、それぞれの団体がそれぞれの目的をもって活動しており、現在は連携しているとはいええない状況であります。ニーズの掘り起こしを行うために団体が連携するのは現実には難しいと思われまます。ひとつの方法として、各団体の代表者が委員となっている社会教育委員が中心となり、その働きかけで各団体との協力体制が確立できればニーズの掘り起こしに繋がるのではないかと考えております。

(提言)

現役世代が、講座等の開催状況や申し込み方法等の情報を気軽に得られるよう、現役世代の生活実態に即したICTの活用など伝達手段を多様化、工夫し、積極的な情報発信に努める。

(検討状況)

講座のPRについては紙媒体のほかHP・メールの活用を行っております。また、申し込み方法については、以前はハガキでの申し込みだけでしたが、それに加え今ははばらき電子申請・届出サービスの利用による受付、さらにメール（QRコード）での受付も行っており、自宅情報発信技術の活用工夫を行っております。電子申請サービスやメールでの申し込みはすでに全体の約4分の1をしめており、今後も現役世代の生活実態に即した情報発信に努めてまいります。また講座については、現役世代を対象とした内容開催時期等の検討が必要で、魅力ある講座にするための手法手段を検討してまいります。

#### ・スポーツ推進課長

(課題)

スポーツ活動の中心が高齢者に偏りつつあり、スポーツ施設の平日利用者は60代後半から70代の方がほとんどで、施設利用者も高齢化が進んでいること。高齢化と少子化で施設の利用は減少傾向にあること。

(提言)

スポーツイベントでは、勝負にこだわる競技スポーツだけでなく、誰もが参加しやすい交流を目的とするようなスポーツ種目も取り入れる。

(検討状況)

交流を目的とするスポーツイベントとしては、3地区スポーツ交流会において、体育祭やボウリング、ウォーキングなど、誰もが参加しやすい種目を取り入れた事業を行っております。

また、牛久シティマラソンでは、タイムにこだわらずにみんなで楽しく走るジョギング、ウォーキングを取り入れ、参加者の拡大に努めています。

今後もスポーツイベントの企画にあたっては、スポーツ推進委員やスポレク協力員等からの意見をいただき、対象者を見極めたうえで的確な種目を取り入れて行くよう進めてまいります。

(提言)

障がい者、高齢者も楽しむことのできるユニバーサルスポーツを積極的に導入する。

(検討状況)

地域における全ての世代の人々の交流が促進されるよう、高齢者、障がい者、子供など誰でもみんなが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの導入が地方自治体に求められております。

今後はハード面において、施設のバリアフリー化を進めるとともに、スポーツ推進委員の協力を得て、東京パラリンピック2020の視察や研修・講演会等を通して、当市福祉部門とも連携しながら多くの市民を対象としたユニバーサルスポーツ体験教室等を開催できるよう事業を進めてまいります。

(提言)

スポーツのすそ野を広げ、生涯スポーツの推進を図るための人材育成を図り、地域のスポーツリーダーが活躍しやすい体制をつくる。

(検討状況)

現在22名のスポーツ推進委員が、住民の求めに応じて、スポーツ実技の指導、スポーツ活動の促進のための組織の育成を図ることを目的に活動していただいておりますが、メンバーの固定化、高齢化が進んできていることも懸念されます。

今後の方策として、スポーツ少年団OB・OGの組織化を図り、後進の指導に取り組める体制を作るなどの基盤整備を進めていきたいと考えます。

(課題)

スポーツ施設も老朽化し、今後施設の補修等経費の増大も見込まれる

(提言)

施設改修等、スポーツ施設整備にあたっては、ニュースポーツやユニバーサルスポーツも視野に思い切ったリニューアルも検討する。

(検討状況)

「スポーツ基本法」の第十二条の規定の中で、地方自治体には利用者の需要に応じたスポーツ施設の運用の改善が努力義務として定められております。

今後障がい者や身体の不自由なお年寄りが、ユニバーサルスポーツなどに積極的に参加することができるよう、牛久運動広場、奥野運動広場への障がい者用トイレの整備や、移動が制限されない広場への改修など、誰もが利用しやすい施設となることを念頭に各施設の整備計画を進め予算要求してまいります。

・中央図書館長

(課題)

いつも図書館を利用している人だけではなく、図書館を利用していない人をいかに呼び寄せるかが課題。そして「高校生の読書離れ」と言われて久しい昨今、高校生にいかに図書館を活用してもらえるか。

(提言)

退職した教師などの協力を得て、高校生が放課後に図書館に集まり、うしく放課後カップ塾のような学習支援が受けられるような仕組みづくりを行う。

(検討状況)

実施主体や運営主体を含めて、実現に向けた検討を関係機関等と進めてまいります。今年度は、実現への課題や問題点を洗い出します。

(提言)

図書館内で動画制作ができるよう整備し、高校生がみんなで動画作品を作ったり、発表したりする場を設けるなど、若者文化の発信拠点となるような取り組みを行う。

(検討状況)

令和2年度から図書館運営に高校生の参画を得るため、茨城国体終了後を目途に市内の東洋大学附属牛久高等学校、県立牛久高等学校、県立牛久栄進高等学校、及び開成高等学校に協力を要請することとしています。ご提言の「若者文化の発信拠点化」については、高校生の図書館運営への参画を得た中で、実現に向けて検討してまいります。

【質疑等】

議長：私は提言書作成には関わっていませんが、図書館の高校生による運営会議のようなものは素晴らしい取

組だと思えます。これから進めていくことになると思いますが、可能性としては、集まってもらう人数だとか、どのようにアプローチしていくのかなどはいかがでしょうか。

担当課： 牛久市図書館基本計画の中で、高校生の図書館運営への参画というのは重要な施策として考えておりました。今年度、高校生の参画を得る為の準備を進めようとしているところでございます。それと社会教育委員のご提案がマッチングいたしまして、いいタイミングでスタートが切れそうな状況です。具体的には、まだ高校生とは一度も話し合いをしておりませんので、お互いに意見交換をする中でできるだけ相手の意向も尊重しながら事業の展開を進めていきたいと思っております。現時点ではあまり細かいことまでは想定してございません。

委員： 施設の老朽化に対しては具体的にどのように対応していくのか、お話いただければと思います。

担当課： 体育館は、すべて平成一桁の年代の建設でございますので、かなり老朽化しています。国の補助金ですとか、TOTO の助成金を活用しながら、順次修繕を進めているところでございます。体育館の改修を4500万円のところTOTOの2000万円の助成で行いました。これからは空調改修などを補助金助成金を活用して行う予定です。まとめますと非常に大きなお金になりますので、出来るところから優先順位をつけて順次改修してまいります。

委員： 牛久市では、建物が急速に建てられた時期があつて、それが今すべての建物に対して改修が必要になってくんじゃないかというのが気がかりなんです。人がどんどん減っていくということになれば、どの建物は残して、どの建物はつぶしていくとかということも考えていかなければならないということもあります。

担当課： 長期的な施設の長寿命化ですとかは、運動公園は都市計画課が施設整備を行っておりまして、長寿命化の計画を立てております。

部長： 牛久市では 公共施設の総合管理計画を一昨年策定いたしました。その中で牛久市全体の施設の長寿命化について試算をしております。市内すべての施設の修繕更新等には数百億かかるという試算が出ております。今後人口減少も伴ってまいりますと施設そのものの廃止等も含めて今後市全体の問題として考える必要があるという結論が出ています。国等の補助金を上手に活用してできるものについては順次改修等を行っておりますが、今後の老朽化の状況によっては廃止等の検討もしなくてはならないという状況がいずれ来るだろうということです。スポーツ施設は使用料をいただいて利用していただいておりますが、使用料が財源全体の14%にしかすぎない、ということで、使用料の問題につきましても、今後、社会教育委員の会議の中でも取り上げていただいて、どの程度の使用料が適正なのかということをご提言いただければと考えております。

委員： いろいろな地域に研修に出たりするのですが、宿泊を伴った「研修センター」のような施設が充実している市町村があつてうらやましいなあと思っております。牛久市ではそういった施設の計画はございませんか。牛久でも欲しいなど。

部長： 現状の計画においては研修センターのような施設の建設はございません。現在の公共施設を維持するだけでも相当の費用がかかる中で新たにそういった施設を考えるのは難しい状況であろうというのが現実だと思えます。教育委員会は多くの施設を所管しているというのもありますので、そういうことを財政当局に提案するのはきびしいというところです。

議長： 施設の統廃合があるかもしれないとしたら、研修センターにリニューアルするというのももしかしたらあるかもしれない。利活用の中で。

部長： 小島委員から「宿泊」というお話が出たので、運営上経営的にどこの自治体も厳しいというのがあるので、かなり大変なことになると思えます。統廃合に伴った中でそういった施設をリニューアルし

て作るというのは考えとしてできないわけではないと思いますが、統廃合は市全体で考えていく内容になってくることはご理解ください。

委員： 私たちのような団体は文化活動で施設を無料で使わせてもらっています。ところが近隣をみるとつくばもそうですし、阿見とかほとんどが有料です。使用料が減免されている点は我々は感謝しているのですが、施設の老朽化という問題ありますし、減免については考えてもいいのではないかと思います。

部長： 公共施設の総合管理計画を策定した中で、今後、市としても使用料についてはゼロベースで考えなくてはならないという問題意識は持っていますので、使用料を全面的に見直すことが近い将来はじまるような状況にはなっています。

委員： 総合管理計画があるというのを初めて知りました。最終的に到達するところはどのような姿を描いて計画ができてるのか、ただ今あるものを管理していくというだけだったら誰でもできることだと思うんです。将来どのように置き換えて市民のためになる施設になっていくのか、あるところでやめるのか、そういったものが計画の中に入っているかどうかというのが必要なのかなと思います。そういうところがないとただメンテナンスで金がかかるで終わってしまいます。やめるものはやめるとか、10年たったらこれはなくなるよとか、市民のニーズも変わってくるので、そういう総合的な計画をしないと。

部長： 公共施設総合管理計画は単に維持補修の計画ではなくて、牛久市の人口も将来的には減っていくとなれば、今あるすべての施設が必要なのかという部分も計画の中で考えていかなければならないのですが、現時点で作った計画につきましては、今の施設を維持していくためにどのぐらいのお金がかかるというのを一旦出してそうしたベースの情報から人口の経過を踏まえた中でどういう施設をどうしていくのかをひとつひとつ考えていかななくてはならない。施設を所管する各部門の中でたたき台があり、そしてそれを市全体の計画に持ち上げているという形になるかと思っています。たとえば来年4月に奥野小学校と牛久第二中学校が義務教育学校として1つになります。今は2つの施設を併用して使いますが、近い将来、二重にある施設が一つで済むということなども総合管理計画の中で検討する内容になっています。それによって年間の維持費も数千万単位で削減できるという部分ですとか、更新にかかる費用、年間の維持補修にかかる費用がどのぐらい市の財政に影響を与えるのかを総合的に判断する判断できるような資料になっていくと思っています。

委員： 施設の使用料は14%という回答だったのですが、これから先、少しでも上げようという計画なのか、あるいは具体的に20%とか決まっているのですか。

部長： 具体的に何%という数字があるわけではありません。近隣の市町村でも適切な使用料はどのぐらいかという議論があり、自治体によってはそれをすでに制度化して使用料を定めている自治体が増えてきているのは事実です。一概に何%というよりは、作るためのコストがあり、維持管理するランニングコストがあって、どの部分をどれだけ市民の方に負担していただき、かつ施設を利用していただいている方に負担をしていただくんだという議論があって決定していくことですので、具体的にどの程度利用者の方に負担していただくのかもこれから議論が始まるということでお話させていただきました。

委員： 利用者が使用料を負担するというにはいいと思います。施設の維持管理に必要な費用だと思いますので、市民の方が使用料を負担するのはいいと思います。郷土愛を高めるために、歴史郷土館があれば、発掘物、郷土の偉人の作品を集め、そこに人が集まる。

委員： 牛久市には文化財と呼ばれるものがたくさんあります。それがあある小学校の空き教室に全部収納さ

れていたり、分散されて収納されていると思うんですが、市民にそれが全然伝わってないんです。郷土館というのがあれば一番いいのでしょうけれど、ないならないなりにどこの小学校でこういうものが見られますというPRはする必要があると思います。市民が身近に行き見ることができることが必要だと思います。それが集大成されたものが郷土館になろうかと思いますが、そこまでいなくても、今ある文化財を市民に知らせる必要があると思います。

委員：あと地区社協。学校単位なんです。学校は駐車場もあっていいのですが、地区社協は拠点がなくあんなかまくいかないというものもあります。広い視点で見ていただいて今ある建物の活用を考えていただきたいと思います。

部長：委員からありましたように、集めた文化財、牛久市も昭和60年ぐらいまでは民族歴史資料館というのが庁舎内にありまして、それが撤去されて、その時もどうするんだと話題になった記憶がございます。30年以上前の話です。それ以後市議会議員の先生方からもそういう施設が欲しいという要望は出されてるんですが、いまだに実現にいたってないというのが現状です。本来は保存し活用という意味での展示公開するということなるのですが、保管場所が小学校中学校の空き教室、そこしかなかったということもあって、その学校の子供達には一部見せることができたのですが、一般への開放公開まではいたっておりません。来年度になります、各行政区の区民会館を建て替える計画の中で、別のところに建て替えるという事例の中で、教育委員会でその施設を寄付していただいて、展示や保管ができる場所にしようという計画も一部であります。一方で、女化にある青年研修所と言われているの建物は国の登録有形文化財になっていますので、そういった施設を活用して集めた民俗資料等の展示もしていければなどことを担当課の方では考えています。ご寄付頂いた住井すゑさんの邸宅ですとかも記念館として活用公開を考えております。一気にいろんなことはなかなか難しいので、徐々に携わっていければと思っております。

学校は、子ども達がいる間は学校として教育委員会の財産ですが、学校でなくなったとたんにお返ししなくてはならない。市長部局に戻って市長部局の方でどうするという事になり、教育委員会の好きなように使えるということではないのです。市全体で考えていくことになろうかと思えます。

委員：奥野の小学校と中学校が一緒になって運営していくことについて、今校舎が2つあります。子どもたちを一カ所に集めるのですか。それとも今のままで運営だけを一緒にやっていくのですか。

部長：スタート時点においては、今の奥野小学校には1年生から4年生まで。牛久二中には今の5年生から中学3年生までが通うことになるという計画で進めています。校舎がかなり近い距離とはいえ2つに分かれて子供達が2カ所に分散しているのは学校運営上大変な部分があるので、近い将来、なるべく早い時期には校舎の一体化を考えていく必要があるというお話を教育委員会の中でさせていただいております。

委員：りっぱな建物なのでいろんな利活用ができるのではないかと思います。廃校利用の活用も多いですね。

部長：文科省からも廃校となった校舎の利活用のパンフレットもいろいろ出てますので参考にさせていただいてますし、奥野小は、建ててから50年ぐらいですか、経ってますので、校舎をどう維持していくか、そのままにするか、今後の利用の仕方で変わってくると思いますので、市全体で検討していく必要と思っております。

委員：前向きに青写真をしっかりしていきたい。

委員：体育館を1つに将来するというのは。

部長：具体的な計画は全く出ていないんですが、来年予算が通ればそういう基本構想を作っていければなど

考えています。

委員：学校の統廃合による、千葉県での道の駅と宿泊施設、体育館がスーパーマーケットに活用されている例があります。常陸太田市の例。

議長：提言については、三つの課より丁寧なご意見をいただきましたので、引き続き情報をいただくということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。続きまして議題2の牛久市教育振興基本計画の進捗状況について。事務局からお願いします。

担当課：（牛久市教育振興基本計画の進捗状況について資料を基に説明する。）

補助金・交付金の社会教育委員等の意見聴取について

※質問等多数あり

議長：補助金に関して委員の皆さんのご意見を取り入れた中での施策をとっています。画期的なご提案をいただきましてありがとうございます。資料のとおり、社会教育委員として所見を述べさせていただくことに決定します。このスケジュールの中でよければと思っています。そして必要に応じて1か月後ぐらい先で意見を集約したものを基に話し合う場を設けられればと思っています。よろしくお願いします。それでは3つ目、コミュニティースクールについて、生涯学習課からよろしく申し上げます。

社会教育指導員：（コミュニティースクールについて説明する。）

※意見等多数あり。

議長：今後、コミュニティースクールにはご意見をいただければと思います。以上で議事はすべて終了いたしました。ありがとうございます。事務局へ返します。

#### 4. その他

事務局：10/8開催の茨城県社会教育委員連絡協議会研修会の案内

#### 5. 閉会